

目指す学校

共感的な人間関係を築き、支持的風土を醸成し、いじめを起こさない、許さない風土を育む

子どものアクション

- いじめのない明るく楽しい学校・学級づくりを進める。
 - ・日々の言動に敏感になり、温かい相手を思いやる言動をみんなで広め合う。
 - ・友だちの気持ちに共感し、よいところやがんばりを認め合う。
 - ・友だちのよいところをみつけたり、よりよい仲間作りについて考えたりする。
- 学級や児童会によるいじめのない学校にするための活動を進める。
 - ・全校集会や人権集会（ほっぴー集会）にて伝えていく。
- 自分たちでできることを考え、行動にうつす。
 - ・いじめに関わることや、心配なことがあった場合は先生や保護者など周りの人に相談する。
 - ・いじめている人は、二度と同じ事を起こさないよう深く反省する。
 - ・いじめを受けている仲間に、勇気を持って根気強く声をかける。
- 携帯電話やインターネットなどでメール等発信するには、その内容に責任を持ち、利用にあたっては、社会や学校等のルールを守る。
 - ・家の人とルールを決め、その約束を守って使用する。

家庭や地域と

- 連携したアクション
 - 子どもの声をじっくり聴くとともに、見守り、理解し、支える。
 - ・日頃から子どもに話しかけ、表情や返ってくる言葉に気を配り、いじめの兆しを見逃さないように努める。「安心」「信頼」を与えるとともに、必要に応じてアドバイスする。
 - いいことはいい、だめなことはだめとしっかり伝える。
 - 子どもが生活の主体者になれる場を見つけ、体験させる。
 - ・ボランティア活動、地域行事、年齢の異なる人々とふれあいを進める。
 - 規則正しい生活習慣づくりに努める。
 - 学校と一緒に動き、協力して解決にあたる。
 - ・子どもの言動や表情に留意し、気になることは早めに学校の先生に相談する。
 - 携帯電話やインターネットを使わせる前に、本当に必要かどうかをよく検討し、保護者の責任において管理する。
 - ・子どもたちがさまざまな事件に巻き込まれている現状や、弊害も生じていることを知る
 - ・家庭で、「公共のマナー・権利と責任・危機回避の仕方」などについて話し合う。

教職員のアクション

仲間づくりを大切にする

学級の目標に向かい互いが支えられる人間関係を構築する。
「教師が率先して全員がそろうまで待つ」
認め合える人間関係を構築する。
「教師が率先して空気をやわらかくし、認め合える仲間にする」
この集団でいいのかを常に確認する。
「教師が率先して悲しい思いをしている仲間がいないかの問いかけをする」

学校生活を大切にする

整頓されている教室を保つ。（黒板・ロッカー・床等）
「教師が率先してきれいな教室で子どもを迎える」
集団生活のリズムを整える。
「さまざまな活動の始まりを全員でスタートさせる」
みんなの約束が守られる。
「名札をつける」「かかとをふまない」
「東小スタンダード」を推進する

授業を大切にする

授業で子どもと向き合う ・子どものわかりたいを大切にする ・子どものできたを認め合う場を大切にする ・積極的に発言する場を与える	道徳の時間を充実させる ・子どもの心の基準をつくり、正義・思いやりの気持ちを育む ・自分を振り返る時間を大切にする
--	---

本校の指針

いじめを絶対に許さない
いじめられている人を
守り通す

- 「仲間とは何か」、「仲間意識とは何か」を明確に語る教師
- 「どんな集団にしたいのか」めざす集団の姿を明確に語る教師

言動に敏感になる

相手の気持ちに寄り添った言動を浸透
「荒いことばをその場でただす」
「やさしいことば遣いを広める」
「プロレスごっこはさせない」
※「教師のことばを吟味する」

仲間に敏感になる

「仲間の『いつもとちがう』に気づかせ
気づきを自分の行動であらわさせる」
「仲間の『気づき』に呼应させる」
※「教師がその範を示す」
※「定着するまで教師が地道に続ける」

一人ひとりに敏感になる

「子どもと子どものつながりを太くする」
「子どもと教師のつながりを太くする」
「保護者と教師のつながりを太くする」
「教師と教師のつながりを太くする」

教師のぶれない姿勢をつらぬく

「だめなことはだめ、いいことはいい」

- ・いじめ予防に関わり学級指導を全校行う。
- ・学校生活に関するアンケートを年2回行う。それをもとに「子どもと語る会」という時間をとり、学級全員の児童や困り感を持っている児童と個別に教育相談をする。
- ・「学校全体で子どもを教育する」組織的な教育相談体制を充実させる。
- ・情報モラルの指導を行うとともに携帯電話やインターネットの使用ルール・マナー・危険性について理解させる。
- ・子どもたちの些細な変化を見逃さないよう観察し、未然防止・早期発見に努める。
- ・「いじめの疑いがある事案」に組織的に取り組む。